

# 英語 授業づくり講座 in 香南市立佐古小学校

授業をアップデート!  
生きて働く学びを創る!

東部管内の  
講座情報



令和4年7月発行  
東部教育事務所



第6学年 Unit1 This is me. 中川 真身 教諭

**単元目標** 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、友達の得意なことや好きなものなどを聞き取ったり、自分の得意なことや好きなものなどについて伝え合ったりすることができる。



教材研究会 5月18日

単元ゴールの言語活動

野市小学校の友達と、互いのことをよく知り合うために自己紹介のやり取りをし合う

協議の視点:言語活動を通して資質・能力を育成する単元計画になっているか

グループ協議より

- ・表現・発話をより膨らませるためには、もっと既習を使ったものへ再構築していくとよい。
- ・見たことのない初めての相手とのやり取りは、子供にとってハードルが高い。まずはビデオレター等で相手のことを知る場の設定があるとよい。

文部科学省 初等中等教育局 直山 木綿子 視学官より

### 1. 聞き手を育てる

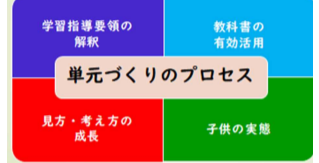
聞き手が話し手を育てるという視点を大切にしましょう。質問力を付けるには時間がかかるので、帯活動の Hello time 等でも継続してやり取りをさせることが大切です。

### 2. 単元の1時間目の重要性

子供の気付きを大切にしましょう。単元で扱う言語材料を使いながら教師が ALT とやり取りをし(日本語は使用しない)、「何の話をしているのかな?」と子供に推測させながら聞かせます。途中、子供ともやり取りをしながら、本単元で行う活動に気付かせ、単元ゴールにつなげていく等の工夫をするとよいでしょう。

## 「単元づくりの在り方を問い直す」～単元づくりの出発点は?

- ◆**学習指導要領の解釈** 話すこと[やり取り]イ日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。
- ◆**教科書の有効活用** I'm from～.等の言語材料や既習表現を使って自己紹介する単元である。初めて会う人とやり取りする際に、どんなことに気を付けるのかを考えさせることができる。
- ◆**子供の実態** 自分の好きなもの等は伝えられるが、相手が言ったことに応答したり質問したりすることが苦手な児童がいる。
- ◆**見方・考え方の成長** 初めて会う人とお互いによく知り合うために、何をどのように伝え合えばよいか。



授業研究会 6月15日

本時のめあて:野市小学校の友達とお互いのことをよく知り合うことができるような自己紹介を考えて伝え合おう。

## 教材研究会を受けて変更した点

- ◆**ゴールへの意欲付け** 野市小学校からの自己紹介動画を見せたり、顔合わせで見通しを持たせたり意欲付けを行った。
- ◆**ICTの活用方法** ICTの活用場面を見直し、単元入口の動画と現在のやり取りを比較させ、変容を確認させた。
- ◆**単元入口で実態把握** 即興でやり取りをさせ、録画し、自分たちができること・できないことを確認・共有した。

協議の視点:目的・場面・状況に応じて児童が思考・判断・表現していたか

グループ協議より

- 単元入口の動画と、本時でのやり取りを比較したのは良かった。野市小学校の友達とやり取りするゴールに向けて会話が増え、成長していることをみんなで見えてきた。
- 中間指導の後でも会話がかわらない児童がいた。変容しなかった児童を取り上げて、全体で考えさせてもよかった。

## 本時の展開

Activity1 (やり取り1回目)※発話のまま記述しています。

児童1: My name is ○○. I'm from Sako. Where are you from? 児童2: I'm from Kochi City.  
 児童1: Oh. My birthday is ○○. When is your birthday? 児童2: ○○.  
 児童1: I'm good at running. I'm not good at swimming.  
 Do you like swimming? 児童2: Yes, I do. My name is ○○.  
 I like soba. Do you like soba?  
 児童1: No. (少し沈黙) Thank you. Bye.

自分のことを言うだけで精一杯・・・

### 中間指導 1回目

モデルの2人の単元入口の動画と、現在のやり取りを比較した。  
 教師: 2人のどこが良くなって?  
 児童: 名前のつづりを言っていた。わかりやすい。  
 教師: 他に言えるようになったことは? つづりだけ?  
 児童: 質問が増えた。  
 教師: どんな質問?  
 児童: When is your birthday?とか。  
 教師: そうだね。質問するためにはどうする?  
 児童: 自分のことを言ってから、質問する。  
 教師: OK!それを意識して、もう1回やりましょう。

### 中間指導 2回目

教師: 1つ前と今のやり取りで変わった人、いる?  
 児童: 好きなキャラクターを聞いてみた。  
 教師: 相手のことを知るためだね。○○さんが yummy.って言ってたけれど、どうして?  
 児童: Do you like strawberry?って聞かれたから。  
 教師: なんて答えたの?  
 児童: I like strawberry. It's yummy.  
 教師: 聞かれたことだけじゃなくて、自分の思いも伝えてね。素晴らしい!ではもう1回、やりましょう。

Activity2 (やり取り7回目)※発話のまま記述しています

児童1: My name is ○○.(名前のつづりを言う) What's your name? 児童3: I'm ○○.  
 児童1: OK. I'm from Sako. Where are you from? 児童3: I'm from Nankoku City.  
 児童1: My birthday is ○○. When is your birthday? 児童3: My birthday is ○○.  
 児童1: I like running. I don't like swimming. Do you like running? 児童3: So so. I'm good at soccer.  
 児童1: Why? 児童3: 習っているから。  
 児童1: OK. I like cats. What animal do you like? 児童3: Dolphin. I like fish.  
 Do you like fish?  
 児童1: 触るのはいやだけど、食べるのはOK. What fish do you like? 児童3: I like 鯛.  
 児童1: Why? ……

お互いのことを知るために、相手にも質問して聞き出しているね!

文部科学省 初等中等教育局  
直山 木綿子 視学官より

### 1. 言語面の指導～言語を正しく使う指導を入れる

「バレーボールが好き」と伝えたいけれど「It's sports. Volleyball.」とずっと繰り返していた児童がいました。「I like volleyball.」と言語材料を正しく使う指導をしましょう。言えなかった表現を中間指導で共有したら、言えるかどうか確認し練習をさせましょう。きちんと最後までやらせることが大切です。その際に、学習者用デジタル教科書を使わせて、個別に繰り返し聞いて正しい英語を身に付けさせたり、次時の Small Talk でその Topic を扱い、英語を使わせながら指導したりしてもよいでしょう。

### 2. 情報の蓄積～音声中心の外国語を視覚化する

中間指導で、児童2人の単元入口のやり取りの姿と本時のやり取りの姿を比較させ、変容についてみんなで話し合いました。ICTを情報の蓄積のツールとして使うとよいでしょう。

### 3. 個人で考える場の設定～考えを再構築させる

個人で考える Thinking Time を大切にしましょう。友達の話聞いて、自分はどうしようかと考える時間が必要です。ウェビングマップ等を用いて、毎回内容を増やしていく等、工夫しましょう。

参加者より

○中間指導では内容だけでなく言語面でも指導を入れていくこと、デジタル教科書の活用をすることがわかった。また、本校でも中間指導で個人思考の時間について課題があったので、伝達していきたい。

2セット目

香南市立佐古小学校

9月15日(木) 教材研究会

10月28日(金) 授業研究会

第5学年 Unit6 I want to go to Italy.

香南市立野市中学校

11月24日(木) 教材研究会

1月18日(水) 授業研究会

第2学年 Unit7 Amazing Australia

単元づくり、指導と評価等について  
一緒に考え、授業改善のヒントを  
持ち帰って実践に活かしましょう。

